



Lions Clubs International District 336-B 7R-1Z

6LC合同会報誌



ライオンズクラブ国際協会336-B地区

地区アクティビティ・スローガン 『サムシング ニュー Something New』

地区ガバナー・スローガン 『誇りと自信 そして前へ』

ご挨拶



ライオンズクラブ国際協会336-B地区
第一副地区ガバナー 西尾 慎一

新年おめでとうございます。また、合同会報誌が発刊されますことにお慶びを申し上げます。

7R-1Zの会員の皆様方には、コロナウイルス感染症の蔓延により難しい社会状況の中、工夫をこらして奉仕活動にご尽力頂いております事に敬意を表する次第でございます。

私たちは、今まで経験をしたことがない状況を真摯に受け止めるなか活動を継続し、現在は完全な終息ではありませんが、感染拡大も下火となり、少しではあります未来にむかって明が見えたように感じております。

私たちを恐怖に陥れたパンデミックではありますが、これをきっかけに私たちの行動が大きく変化しました。例えば、奉仕活動のあり方や通信手段、特にWEBを駆使しての会議運営や事務運営はライオンズクラブのみならず企業や一般社会において大きく取り入れられるなど変化をもたらしました。

このように、コロナ感染症は時代の変化に合わせ私たちは“変わらなければいけない”とのきっかけになったのではないかと思います。

私たちライオンズクラブは人の力、人のつながりで地域にそして世界に向けて活動している団体です。

この度の合同会報発刊を機に私たちの結束を更に深め、会員一同知恵を絞り力を結集して時代の変化に即応し、未来を見据えて活動できるライオンズクラブ、新しい時代にマッチしたライオンズクラブへと変えて行くチャンスの年と考えています。

そして、今年一年が会員の皆様にとってよき年となりますこと、ライオンズクラブが一層発展する年となりますことをご祈念申しあげ、挨拶とさせていただきます。

“We Serve”

存在意義が問われる時世

7Rリジョンチェアパーソン

山名 立洋

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナを理由にして様々な活動が停滞致しました。延期や中止の理由として「感染の可能性がゼロではない」と言われると反論できないのですが、すべてをコロナのせいにして良いのだろうか考える今日この頃です。

RCに就任して以来ほとんど活動が出来ていないのですが、10月半ばに7Rのリジョン・ゾーン連絡会議を開催し、ゾーンチェアパーソンと現状と課題について共通の認識を持つよう議論を深めました。広岩ZC、湊ZCより例会訪問による成果をお聞きし、現状で何が出来るか話し合いました。私としては1Z・2Z合同のアクティビティが出来ないと模索しているところです。可能であれば以前のように、ジオパーク内の松枯れ木の撤去などが出来ればと検討しています。定着しているゾーン内での献血活動、EM菌によるプール清掃、フリーマーケット、平和ポスター募集活動などは今後も継続したいと考えています。

1Zでは新たに合同のクラブ誌を発行するようですが、合同例会が開催出来ない現状を見て、せめてもと工夫されたものだと評価しています。コロナ下でも出来る合同の活動について皆様の叡智をお借りしたいと思っています。



7R1Z ゾーンチェアパーソン

廣岩 勝彦

明けましておめでとうございます、謹んで新春をお祝い申し上げます。ゾーンチェアパーソンの任命を受けなんとか皆様の協力を得て半期を終えることが出来ました。あと半期「会員増強」を唱えながら重責を果たしていきたいと思います。

この度初の試みとして合同会報誌「新年号」を発刊させていただくことが出来ました、各クラブの会長、幹事、担当役員の皆様には大変お世話になりました。7R1Z6クラブの運営及び状況、アクティビティを知る機会が出来ることは各クラブ会員の皆様にも「WE SERVE」をより感じる事が出来、次に繋がるものを感じる事が出来るのではないかと思います。継続と変革ライオンズクラブも世代を繋ぎ乍ら進んでいけたらと思います。

来期はいよいよ西尾ガバナール(鳥取ライオンズクラブ)が誕生いたします、6クラブ一丸となって協力していただきますようよろしくお願いいたします。



風紋

鳥取ライオンズクラブ

会長スローガン「新時代のWe Serve新しい発想、新たな挑戦、新しい仲間!」

新年のあいさつ



明けましておめでとうございます。コロナの影響もまだまだ予断を許さない状況ですがwithコロナを模索する動きが至るところで

始まっています。わたくしも皆さまから多くの知恵やアドバイスをいただきながら職務を遂行したいと思っていますので今年もよろしくお願い申し上げます。ある研修でキム・キャメロン博士(ミシガン大学教授。組織内の美徳とパフォーマンスに関する研究がメインテーマ)の著書を見る機会がありました。概要は困難な時に感謝の気持ちに気づきそれを伝えることは賢明だけでなく健康にとってもよいといったものです。

ある大学のクラスの学生の半数に「毎日感謝していることを3つ」日記に書くことを宿題にしました。残りの半分の生徒は1日の「出来事や問題」を3つ書くことになっていました。その後すべての生徒にインフルエンザの予防接種を行い一週間後に検査したところ、感謝の日記をつけている生徒は他の生徒よりも多くの抗体を持っていることが判りました。さらに別の研究で、風邪ウイルスにさらされた人を毎日感謝の気持ちを持っている状態にした場合、風邪をひく頻度が半分以下になったそうです。つまり感謝の気持ちを身につけることで肉体的にも感情的にも精神的にもより健康になることができることが証明されたわけです。ストレスや不安に圧倒されてしまう時代に単純な処方箋があるとしたら私たちの周りにある感謝を数えてあげるこ

鳥取ライオンズクラブ 会長 八矢 一城

と、感謝する価値のあることが身の回りに起こっていることに気づくこと、例えば

- ・ 家族との関係を新たに。より親密に家族とのつながることに時間を割く
- ・ 助けが必要または不安定な状況にある人をより具体的に気に掛ける
- ・ 普段あまり意識していなかった人とコンタクトする
- ・ 世界の優れた医療・公衆衛生の考え方に触れる
- ・ 今後さらに大きな悲劇やトラウマとなる出来事に備えるための備忘録を残す
- ・ 豊富な教育オンラインリソースを知る 等々です。

ネガティブなこと不便なことに焦点を当てやすい時期である今こそ「感謝」に焦点をあてることが危機を乗り切るための最も効果的な方法の一つなのかもしれないし実際によりよい状態になる方法かもしれないと述べられていました。

我が「鳥取ライオンズクラブ」も今年創立65周年を迎えますが認証以来青少年の健全育成、環境保全、障害者援助など地域社会へのさまざまなアクティビティを実施してきました。今年も「We Serve」の精神でさらに多くの皆さまに感謝され、感謝する組織になるよう会員の皆さまと一致団結して奉仕活動に精進してまいります。

明るい希望の年になることを祈念し年始のご挨拶とさせていただきます。

令和4年1月吉日



明けましておめでとうございます。「鳥取ライオンズクラブ」幹事の田賀と申します。

前期高齢者ではありますが入会3年目の若輩者であります、ライオンズクラブの事を理解する為には役員をする事が近道と諸先輩より指導を受け大役を受けたところでありますが、会員・会長の手助けする立場にいなから逆に助けられてばかりで申し訳なく思っているところであります。しかしながらやはり幹事をするといろんな事がわかってきました。

鳥取ライオンズクラブ 幹事 田賀 和明

基本、ライオンズクラブは「奉仕」こそが使命だという事、それに準じた人員構成がある事などこの度の合同会報誌は複数のクラブのチームワークをさらに有意義にし、新しい知識を得る事でより成果を収める事に役立つものと確信します。

私も早くクラブの役に立つ人となる様努力いたす所存でございますが、まだまだ未熟者であり皆様には何かとご迷惑をお掛けするのではないかと思います。何卒ご指導、ご鞭撻の程 よろしく願いいたします。

クラブ紹介

MC委員長 松本匡司郎

今年65周年を迎える鳥取LCは、伝統と歴史あるクラブとしてライオンズ精神を大切に様々な活動を続けています。昭和32年、国内41番目のクラブとして、津山LCをスポンサーに29名で産声をあげました。国際特別代表ほか諸氏の御臨席のもと、2月16日に鳥取市内で発会式が行われました。

当時は、今のような通信も交通も発達した時代ではありませんでした。文書を米国と郵送でやり取りしていたころで、国際本部の正式な承認は9月となっています。実際には年度をまたいでの承認となったことや、当時の鳥取で英語ができる人は少なく、英文の扱いにずいぶんと骨を折ったという話が、今でも語り継がれています。これも歴史あるクラブならではのことと思われます。

結成当時のメンバーは既に御存命ではありませんが、毎年のチャーターナイトほか年度行事では、これまでの先輩方の活躍と社会貢献の偉大さをかみ締め、受け継いでいく責任と使命感を持って今後の活動に思いを膨らませています。



鳥取LC認証60周年記念式典
以前から交流のある 台湾300-E1地区 高雄市健嬋獅子會 王芳齡会長を迎えて



子どもたちとの芋掘り

奉仕委員長 吉谷 典雄

鳥取市立若草学園様との芋掘りで、毎年子どもたちと交流活動をしています。

楽しみにしている子どもたちと秋の収穫を楽しむためには、立派なサツマイモを育てなければなりません。責任重大です。6月の植え付け、害獣防止の柵作り、真夏の草取り作業、収穫前には葉や蔓の刈り取りをして子どもたちを招待します。高齢化が進む会員たちですが、農作業のベテランも多く、日頃の運動不足解消と自然に触れてのストレス発散に、楽しく汗を流します。農作業が初めての若手会員も、畑で歓声を上げながらの収穫で、子どもたちの姿に癒されます。

芋は学園で少し寝かせた後、学園の焼き芋大会に会員たちを招待してくれます。子どもたちの「ありがとう」の元気な声と満面の笑顔に、この活動もライオンズ精神と共に継続していきたいと思います。





鳥取LC杯卓球大会

青少年健全育成委員長 福田 秀章

鳥取LCが行っている毎年恒例の活動のひとつに、鳥取こども学園様との交流を図る「鳥取LC杯卓球大会」があります。30回を超えるこの卓球大会は、学園への支援と子供たちとの元気な触れ合い交流を目的に開催しています。

鳥取LCの会員もエントリーして、団体や個人戦、混合チーム戦など、学園の工夫で毎年盛り上がります。会場は鳥取こども学園体育館で、例年真冬の寒い時期に開催されます。開会式前から子供たちは賑やかにウォーミングアップ。会員たちはストーブで体を温めます。

子供たちも毎年楽しみにしているようで、この大会のために学校の卓球部に入って真剣に優勝を狙って練習に励んでいる子もいました。子供たちへの応援や会員たちへのヤジのような掛け声など、和気あいあいの中にも真剣に、寒さを吹き飛ばす盛り上がりです。

試合後は皆で車座になってお弁当です。話も弾み、こどもたちの元気な笑顔に会員たちの方が逆に励まされているようです。子供たちが楽しみにしてくれていることや、周年記念に鳥取LCが贈呈した道具（卓球台・ラケットなど）が大切に、しかも使い込まれているのを見ると、継続していきたい活動だと思います。



仲間との交流

計画委員長 濱田 泰彦

歴史ある鳥取LCですが決して格式張らず、例会や記念行事、清掃活動、献血促進など種々の奉仕活動では、新旧の会員が和気あいあいと協力して行っています。いわゆる「敷居が高くない」ことも当クラブの魅力です。例年のエクスカッションやゴルフ大会では、会員と家族だけでなくその友人知人も一緒に気軽な交流を楽しみ、地域の仲間を大切に活動しています。



獅子

鳥取中央ライオンズクラブ

会長スローガン 「心を揃え 共存しながら We Serve」

新年のあいさつ



会長 江原 忍

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様、これよりの新たなスタートを健やかにお迎えの事とお

慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により例会の運営や各種アクティビティ等に大きな影響を受けてきました。当クラブにおいてもやむなく中止や変更になった行事もありました。これよりもしっかりと感染対策を行い、ライオンズ活動を行ってまいります。

早いもので昨年7月に会長に就任してから半年が経過いたしました。会員の皆様方の絶大なるご協力のおかげをもちまして無事に事業を進めることが出来、大変感謝しております。残りの半年もよろしくお願いいたします。

私が今年度掲げました方針について進捗状況をお話させていただきます。1つ目の例会の充実の目標ですが、寺谷計画委員長を中心にとっても計画された例会運営であったと感謝しております。後半には私自身が会員の皆様にお声掛けし、出席率を高めていきたいと思ひます。

2つ目の方針はアクティビティの充実を掲げました。これよりの後半に老人ホームの慰問事業、青谷こども

学園との交流会があります。昨年はどちらとも実施することは出来ず、贈り物をさせていただきました。今年は、今まで通りの事業とはいかないと思いますが今できる限りの準備を行い実施したいと思ひます。

3つ目の方針は会員増強を掲げました。会員の皆様のご協力のもと、半年で2名の会員獲得を行うことができました。また、今年には1名の新会員も早々に予定があります。また、半年間で退会者もありませんでした。皆様のご協力で順調に進んでいることに感謝いたします。我が鳥取中央ライオンズは協調と団結が強い誇らしいクラブと実感しております。さらに委員会活動や同好会活動を通じて会員相互の親睦を深めていきたいと思ひます。

最後になりますが、今年は60周年を迎える年となります。大きな一大行事となりますのでなお一層の強い結びつきで皆様と共に準備をしていきたいと考えております。そして今年も皆様のご支援、ご指導、ご協力の程、重ねてお願い申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。皆様にとって幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。

令和4年1月吉日



幹事 加納 美佳

新年あけましておめでとうございます。鳥取中央ライオンズクラブ幹事の加納と申します。

2004年に入会しライオン歴17年となりますがまだまだ知識も未熟でクラブの皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

新型コロナウイルスの感染により、人とのふれあいが制限され以前のような活動が難しい状況ではござ

いますが、その中でもライオンズクラブのモットーである「We Serve」の精神のもと何ができるかを考え積極的に活動できればと考えております。

クラブの皆様を支えられて幹事を務めさせて頂いていることに感謝し、江原会長のもとで微力ではありますがクラブに貢献できるよう精一杯頑張りたいと思ひます。

今後ともご指導賜ります様宜しくお祈り申し上げます。



移動例会(於:賀露神社) 2021.10.19

計画・情報大会委員長 寺谷 一

当クラブは北海道の釧路ぬさまいLCと姉妹提携クラブとして交流を重ねておりますが、コロナ禍においては行き来もままならず合同行事も中止が続いております。せめて釧路に思いを馳せる機会が作れないだろうかと思い、10月第1例会はL竹内に「釧路との絆」と題しスピーチをいただき、10月第2例会はその釧路ともゆかりのある賀露神社にて移動例会を開催しました。

L竹内は、市長時代の経験を踏まえて、姉妹提携都市である釧路市との歴史を説明いただき、今後、両市・両クラブの絆をいかに深めていくのかについて、具体的な案も投げ掛けていただきました。

また、訪問した賀露神社は当クラブメンバーも公私ともに世話になっており、身近な神社でもあります。その歴史は古く、宮司家は天徳2年(西暦950年)より神職を継承し現宮司で50代に及びます。現宮司の岡村様よりご講演を伺い、その後、所蔵の品々を見学させていただき歴史に触れることができました。



賀露神社会館にて例会と講演



参拝と境内を見学



社叢の黒松は樹齢500年～800年以上



旧鳥取城の三大太鼓の一つ
(1本の大ケヤキから作られた兄弟太鼓は名和神社と美保神社に在り)



企業の旧制服を 海外の児童施設へ橋渡し

国際・社会奉仕委員長 川本 竜哉

海外の施設へ制服等を贈る活動が続けている中、一昨年の鳥取県東部自動車学校、昨年の鳥取銀行に続き、今年は鳥取信用金庫の制服を譲り受けました。

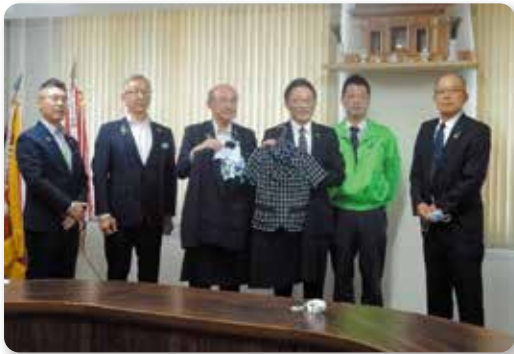
2021年10月27日鳥取信用金庫本店にて、田村理事長、当クラブ会員でもある花原常務理事、総務部花房部長、総務部木村副部長、当クラブから江原会長、西川理事、鎌谷さん、私 川本が立ち合い引き渡し式を行いました。

5年毎に制服のリニューアルが行われているようで制服の有効活用方法を検討されており、当クラブを通じて海外への寄贈をしていただけることとなりました。

今回譲り受けた制服は501着で、段ボール20箱弱でした。当日すべて持ち帰ることは出来ませんでしたので、海外へ送っていただく西川理事に一旦保管していただくよう2021年11月1日に改めて受け取りに伺い、広岩ZC、入江副委員長、私 川本、西川商会古田さん、鳥取信用金庫の皆様で車に積み込みました。制服は全てクリーニングされているとのことでした。

先日前回までに寄贈された制服は、南米ガイアナ共和国へ向けて送り、児童養護施設から出ていく方々が就職活動をする際の正装として再活用されます。

今回寄贈された制服も子ども達の力になってくれることでしょう。





南隈自然公園の清掃活動を終えて

環境・保健福祉委員長 西村紳一郎

環境・保健福祉委員会の本年度計画に掲げていた南隈自然公園の清掃活動を11月14日曜日の午前8時30分より実施しました。空模様が心配されましたが、何とか出来ました。ご参加いただきました会員の皆様に感謝いたします。

活動の内容は歩道に張り出していた樹木の枝の剪定、園内の雑木の伐採、ビオトープ周辺の草刈り、ポイ捨てゴミの回収などでした。樹木の伐採・剪定した木屑は一所に集積して、市が処理対応し易いようにしました。また、ポイ捨てゴミは指定袋3袋回収しました。生活ゴミと見受けられるものもありました。終了後に公園を一周し、きれいに成ったことを確認しました。この度の計画催行に当たり、鳥取市の都市整備部都市環境課に公園整備について確認したところ、緑地の除草は市が委託業者で行うが樹木はライオンズクラブ植栽のためタッチしないとのことでした。また、伐採した樹木等は市が処理する旨も確認しました。現地を下見したところ、緑地は除草されていましたが、樹木の枝が歩道にかかり、歩行者に悪影響を及ぼす可能性が感じられました。また、整備されていないためにポイ捨てゴミが多いと併せて感じました。これらを解消すべく清掃活動の取組み事項としました。

南隈自然公園は先輩諸氏、地元篤志のご厚志により多種の樹木が植栽されています。樹木は年々生長します。毎年手を入れなければ鬱蒼として、ゴミのポイ捨て箇所になることも想定されます。今後の課題はビオトープの復元と高く伸びた樹木の剪定(清掃活動では対応不可)です。植栽された先輩諸氏の志を継承すべく、どのようにして整備して行くのか検討することが必要と感じました。

多くの野鳥が囀り泣いている中の清掃活動でした。自然公園は市民のこころの和む場所としてきれいに整備され、管理されて初めて活かされると考えます。次回の清掃活動へより多くの会員皆様のご参加をお願いいたします。





いなば

鳥取いなばライオンズクラブ

会長スローガン 「今できること 今だからできること」

新年のあいさつ



新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えになられたことと謹んで
お慶び申し上げます。

昨年7月に会長に就任した頃は、台風と大雨とコロナ患者が急に増えて緊急事態宣言も発出され例会、理事会と集まることが出来なく結成例会、納涼例会の中止を余儀なくされました。9月に入るころからやっと委員会も集まりが持てるようになりました。10月に入るとガバナーの諮問委員会もありやっと例会も出来るようになり11月に環境保全委員会の新しいアクティビティーとして鳥取駅前の清掃に取り組み、50周年記念事業として創設した麒麟獅子も綺麗に洗えました。6LC親善チャリティーボウリング大会においては久しく優勝に縁がなく予選に勝ち抜いた選抜メンバーで見事優勝を果たし

鳥取いなばライオンズクラブ会長 住谷きよみ

ました。29日には青少年委員会の事業で鳥取こども学園さんと城北高校相撲部さんに餅の贈呈に行きました。コロナ禍で今年も一緒に餅を搗くことが出来なかったことが残念だと園長先生に言われました。相撲部さんにはちゃんこ鍋用の野菜、カレーの材料も贈呈し大変喜んで頂きました。12月には会員のみですがクリスマス例会も開き楽しい時間を過ごすことができました。

ここ2年間コロナのせいで思うような行動が出来なかったのですがみんなで顔を合わせると安心感と絆の深まりを感じます。まだまだ先の見えない日々が続くと思いますが、今年度の私のスローガン「今できること、今だからできること」まだ多くのアクティビティーも残っています。今以上に会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。そして皆様方にとってよき年になる事を祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。



新年明けましておめでとうございます。
謹んで新春の祝詞を申し上げます。

昨年の7月より、鳥取いなばライオンズクラブの幹事という大役を仰せつかり、未熟ながらも住谷会長のお手伝いをさせていただきました。幹事という役割はその年の会長のやりたい事のお手伝いをさせていただく事、また、その会長のやりたい事に対する成果は幹事の動きによって大きく違う物になって来ると理解しつつも、上手くできているだろうか、会長はどう思われているだろうか、会員の皆さんはどう思われているだろうか、冷や汗をかきながらのあつという間の半年間でした。そのような中であって、鳥取いなばライオンズクラブの会員の皆様をはじめ、地域の各ライオンズクラブの皆様には格別なご高配を賜っており厚く御礼申し上げます。

今回、初の試みとしての合同会報誌に新年のご挨拶を掲載していただくこととなりました。ライオンズに入会してから経験も浅く、幹事としての役割をしっかりと担えているという自負も無い中、このような事に参加させていただく事を

鳥取いなばライオンズクラブ幹事 佐藤 公昭

大変ありがたく思っています。

さて、昨年は一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、多くの感染者と重症患者を出しました。多数の事業で一昨年と同様に事業の運営が困難となる中、私達鳥取いなばライオンズクラブでは本年度の会長スローガン『今できること 今だからできること』のもと満足な事業運営ができない中でもできるだけのことをできる限りやりましょうという掛け声を互いに掛けつつ頑張った一年でした。その結果、10月以降感染の拡大が緩んできたこともあり一昨年と比べると、規模の縮小や形式の変更がありつつも徐々に委員会やクラブ活動が再開できていっていると思います。どうかこのまま、残り半年と言わず新型コロナウイルスの感染が収まってくれないかと願うばかりです。

本年度もあつという間に残り半年となりました。この期間会長のサポートに全力を注ぐ所存です。本年もライオンズクラブ会員の皆様のご繁栄をお祈り申し上げますとともに、改めまして倍旧のお引き立てのほどをひとえにお願い申し上げます。



朝の清掃奉仕 (駅前周辺)

環境保全委員長 岡島 和子

コロナ禍のなか駆け抜けた2021年も終わろうとしています。ライオンズの行事も思うようにできないなかではありましたが、11月7日曜日、駅前周辺の清掃奉仕を行いました。好天にも恵まれ清々しい初冬の風が吹くなか、鳥取いなばライオンズ寄贈の麒麟獅子の像を上田石材店様のご指導のもと、皆で一生懸命磨きました。また、若桜街道～若桜橋コース、太平線～ロータリーコースとそれぞれ1時間ほどかけて、タバコの吸い殻、空き缶、落ち葉等拾いました。

思ったよりもたくさんのゴミが集まりました。当日は早朝にもかかわらず、24名の会員の方々にご参加いただき、本当にありがとうございました。



鳥取こども学園・鳥取城北高校 相撲部への餅贈呈

児童・青少年奉仕委員長 笹尾 茂美

例年恒例の鳥取こども学園での餅つきが昨年に続き新型コロナウイルス感染防止の為に中止が決定され代わりに11月29日、餅の贈呈を行いました。

本来なら多くの会員が参加し賑やかに行われるはずでしたが来年に期待したいと思います。また鳥取城北高校相撲部の生徒も餅つきに力を貸していただいた事業なのでそちらにも、ちゃんこに利用出来る野菜と合わせて餅を贈呈させていただきました。その後、相撲の稽古を拝見することが出来、気迫と力のこもった稽古に大変驚かされました。また礼儀もしっかり身に着け常に集中した練習が全国制覇につながっているのだと感じられるところでした。

今日届けた餅をたくさん食べて粘り強い体をつくり力の源にしていだけたらと思います。





会員委員会アワー

会員委員長 下石 明義

10月21日の第2例会で、昨年に続き講師に鳥取市教育委員会文化財課・鳥取城整備推進課文化財専門員の細田隆博氏を迎え『鳥取城の歴史と復元』という演題のもと委員会アワーを開催しました。

まず、第一声に鳥取城は見る人からみれば『日本にかくれなき名山』に築かれた日本一の城であり、中世の山城的な遺構と近世の城郭遺構が併合し、かつ大藩の政庁として機能し続けたという点で他に類例を見ない日本城郭の形態変化の歴史を物語る『城郭の博物館』と称されているという説明等がありました。私が覚えているのはここまでです。(委員会アワーが終わった後に委員会アワーのコメント依頼が来たもので焦りました。メモでも取っておけばよかったと反省)

現在、擬宝珠橋、大手門が復元され、その周りの石垣も修復中でもあるが、その擬宝珠橋正面から映る何段かに連なった鳥取城の堅固な石垣群の壮大さに改めて気付かされ、いろいろと思いを馳せながら鳥取市のシンボルとして、そして市民の憩いの場として早期復元を願うお城ファンの一人でもあります。

最後に講師の細田様をはじめ関係者の皆様にはご尽力を賜りありがとうございます。ありがとうございました。



地域社会奉仕委員会アワー

地域社会奉仕委員長 谷口 道明

11月4日の第一例会において、「人生100年時代における健康促進」を演題とし、委員アワーを開催させて頂きました。講師には、「運動で多くの人の心と体を健康に!」を理念として掲げられているFitness Ja-んぐる代表の澤晶子様をお招きし、講演及び健康体操を行って頂きました。

講演では、生活習慣病などの予防改善についてのお話しをして頂き、普段から不規則な生活をしている私達にとって日常生活をする上で、食事・運動・睡眠の3つの要素が必要不可欠である事の大切さを改めて学び、そして健康体操では、肩凝り・腰痛予防や改善について実演で行って頂き、どのような体操をする事が効果的かという事に気づか

れました。普段から短時間で出来る体操でもあるため肩凝り・腰痛で悩まされている方は、毎日続けてみてください。

結びになりますが、人生100年とも言われる時代でもあります。今回の委員会アワーの中で健康に対する多くの「学び」や「気づき」を得る機会となり、10年後・20年後・30年後の自分あるいは周りの皆様へ対する健康意識の醸成に繋がったのではないかと思います。お忙しい中、澤先生をはじめ、開催にあたりご尽力いただきました皆様に感謝し、この場をかりてお礼を申し上げたいと思います。





地区ガバナーを迎えて

第二副会長 池谷 勇治

令和3年12月2日鳥取いなばライオンズ第1271回12月定例会に、地区ガバナー平山 智雄氏、336複合FWTコーディネーター有本 みどり氏、第一副地区ガバナー西尾 慎一氏、キャビネット幹事山田 隆嗣氏、キャビネットカウンセラー榎本 明氏を迎え、役員アワーを行いました。

コロナ対策実施中ということもあり、アクリル板の境はありましたがリアルにお顔を拝見しながら、互いのライオンズクラブの状況や課題・問題を確認・検討出来た有意義なひと時となりました。

平山地区ガバナーは、地区ガバナーになられた経緯や苦悩を以下のように発表してくださいました。『自身の職業である歯科医師の例会は、同業者故の競争性等が観られ、表面上の会話や指摘しかなく、自身や会の問題点の解決には至らない事が多くあります。

ライオンズの例会は、心を開いて話せる「ドラえもん・のび太」の世界で遊ぶ感覚であり、ウキウキした状態で参加されているそうです。また、奉仕の精神で活動していることは巡り巡って自己の喜びであり、楽しませて戴いている事への恩返しです。

『ライオンズクラブは、社会奉仕や活動を実践する団体ですが、クラブ地域の為でなくメンバーと楽しく活動を継続していきたい。』と抱負を述べられました。

私たち、鳥取いなばライオンズクラブも近年若いライオンの入会者が多く、世代交代の時期に來ています。ライオンズの使命や目的を再認識しながら、明るく楽しく社会奉仕を実践する仲間として、ライオン自身の課題・問題等も話し合い共感・共有しながら、楽しく学び活動をしていきたいと強く思いました。



チャーターナイト53周年記念例会に寄せて

計画委員会理事 砂田 典男

2021年11月18日木曜日 午後6時より、第1270回11月第二例会が開催されました。開催するにあたり、会場となりますワシントンホテルの支配人ともコロナウイルス感染症の動向等を十分に協議し一定のルールの下では大丈夫ではないかとの結論を見出し決行することになりました。夜間例会に引き続き、飲食を伴うチャーターナイト53周年記念例会が開催されました。開会冒頭に唯一のチャーターメンバー西尾 吉兵衛さんの紹介がありました。(大正7年12月25日生まれ、昭和43年5月入会、現在も健在です)

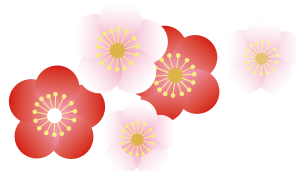
チャーターナイト例会は、実に2年ぶりの開催です。この間、2019年12月に中国武漢市で初めて新型コロナウイルス感染症が発生し、その後、瞬間に全世界に感染拡大が広がりました。当時は、私が鳥取いなばライオンズクラブ会長在任中で2020年2月までは日本での感染拡大もあまり見られない中での通常のライオンズ活動を行うことが出来ました。2月後半にかけて鳥取市でも徐々に新型コロナウイルス感染症が広がりやむなく3月、4月、5月の例会は全て中止せざる事態になりました。6月に入ると会長引継ぎ等の関係で感染拡大の様子を見ながら開催を強行し無事に次期池田会長にバトンタッチすることが出来ました。池田会長在任中も年間24回開催予定の例会が7回も中止となり、現在の2021年度、住谷会長も8月2回、9月1回と中止になり、新型コロナウイルス感染症が発生以来、9月現在、実に16回もの例会が中止となりました。それに伴い各種委員会や事業も中止せざる状況が続いています。また、336B地区の年次大会等も中止となり書面決議等で行われました。

本来、人と人とが顔を合わせ人の温もりを感じながらライオンズ活動を行ってきました私としましては大変さみしい思いの中を過ごしています。久しぶりに開催された、チャーターナイト例会において和気あいあいと歓談する会員同士の姿を見るにつけ、一日も早い日常を取り戻し当たり前の生活がおくれる日が来ることを願っています。

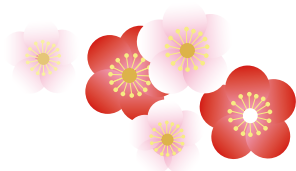


久松

2021～2022年度 鳥取久松LC会長スローガン 「つなぐ つながる 奉仕の笑顔」



新年のあいさつ



鳥取久松ライオンズクラブ 第51期会長 宮部 文雄

ライオンズクラブの皆さま、新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく
お願い致します。

早くも半年が経過し、折り返しの時期となりました。昨年9月以降、コロナの感染
状況が徐々に改善していく中で、当クラブも『今、できることはなにか』をテーマに、
会員相互の結束を図りながら通常の活動を取り戻しつつあります。

鳥取久松ライオンズクラブは、昨年度50周年を迎えましたが、年度内に周年事業を実施することが叶
わず延期することとし、開催時期を模索してまいりました。状況が許せば今年2月に式典を開催すべく、具
体的に計画を進めているところでございます。

ライオンズクラブを取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、これからの半期を是非クラブの活性
化と会員純増に向けてご協力をお願い致します。

本年が皆様にとってより良い年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年1月吉日



鳥取久松ライオンズクラブ 幹事 国森 洋

この度、「鳥取久松ライオンズクラブ」幹事を務めさせていただくことになりました
国森でございます。入会より3年あまりの若輩者で、まだまだライオンズクラブの一
員としての自覚やクラブの基本的な事を身に着けておらず不安ばかりですが、宮部
会長をはじめ皆様のご指導をいただきながら、役割を全うできるよう努力したいと思っております。

昨年来のコロナ禍で多くの事業やアクティビティが中止や自粛となっています。一方で、ワクチン接種も
進み感染状況もこれまでとは少し違った世の中になるものと期待しています。

今期は会長スローガンである『つなぐ、つながる、奉仕の笑顔』を念頭に、クラブの活動やアクティビ
ティも徐々に元に戻しつつ、さらにバージョンアップできるよう皆様のご協力をいただきながら活動ができ
ればと思っております。

これから一年、幹事として頑張っていく所存でございます。コロナ禍の終息が見えない状況の中、会員
の皆様には何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、ご指導、ご協力、ご支援を賜りたいと考えており
ますので、どうぞよろしくお願いいたします。

湖山池公園休養ゾーン・東屋の補修作業を実施しました



GST委員長 秋山 光行



当クラブ創立30周年を記念して20年前に鳥取市に寄贈した、湖山池公園の東屋の補修作業を実施しました。経年劣化が激しく、特に屋根は花粉やカビがビッシリと張り付き、柱やテーブル等の木部もささくれ立った状態で、「今出来ることをやろう」と会長からの提案でした。

10月24日(日)に会員9名が集まり、午前中は屋根の研磨作業、午後から屋根のペイントと木部の研磨と保護材の塗布という流れで作業を行いました。



屋根上での作業は、傾斜と風の影響もあり、少しでも気を抜くと落下しかねないことから、足で踏ん張りながらのスリル満点の作業となり、作業終了時には皆ペンキにまみれクタクタに疲れ果ててしまいました。しかし、出来栄を確認すると、素人集団がしたとは思えないほどの完成度で、コロナ禍で長らくこうしたアクティビティが停滞していただけに、より強い達成感を味わうことができました。こうした経験をさらに次の活動へと繋げていきたいと思います。

第44回鳥取市サッカーフェスティバル大会後援・公認試合球を贈呈



アラート・LCIF・青少年健全育成等委員長 吉川 利雄

1985年から青少年健全育成事業として鳥取市サッカー少年団リーグ支援事業(クラブアクティビティー)を始めました。当時は各小学校の先生が学童サッカーの指導者であったのではないのでしょうか。試合は市内の小中学校校庭で開催されており、夏休みに担当の先生との間で打合せを行いました。1995年鳥取市の近隣市町村との合併により名称を鳥取市サッカーフェスティバルとして(一財)鳥取市サッカー協会の主催で毎年開催されています。

本年は倉田スポーツ広場で開催され、予選は11月13日・14日、決勝は20日に行われました。13日の開会式に参加し、公認試合ボール6個の贈呈をしました。初年には優勝旗とペナント、その後はメダルやトロフィー等を贈呈していますが、主には日頃の練習で子どもたちに役立つことを基本にして、開会式で披露しています。鳥取市でサッカーを学び、日本で、世界で活躍する選手が誕生することを夢みながら支援活動を続けます。

当日の参加者は、L荒川 L小池 L田中利明 L橋本 L福田 L宮部
L吉川 事務局 以上8名



鳥取市敬老ボウリング大会を主催

第二副会長 橋本 和憲



当クラブでは、高齢者の健康づくりと親睦を深めて頂こうと、毎年9月の敬老の日を前に市内各地区(約40地区)から100~120名の高齢者をご招待して、敬老ボウリング大会を開催しています。

昨年、今年はコロナ感染症の影響で開催できなかったものの、一昨年で47回を数え、60歳台~90歳台の男女の高齢者に楽しんで頂いています。各回ごとに、参加者は若かりし頃の経験を思い出しながらハツラツとしたプレーに一喜一憂し、各レーンから歓声やいい訳を交えての楽しい一時を過ごして頂いております。来年から又開催できますように!



都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト

MC委員長 上杉 榮一



鳥取県出身の入江聖奈選手が見事金メダル!

この金メダルには、鳥取久松LCが取り組んだ、『都市鉱山からつくるみんなのメダルプロジェクト』で回収した小型家電から生まれた「金」が含まれているかもしれません。

鳥取久松LCの取り組み 2017年度・2018年度メインアクティビティ

「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」は、東京2020オリンピック・パラリンピックでアスリートに授与される入賞メダルを使用済み携帯電話等の小型家電から金属を集めて製作する企画。環境省が主管して、2017年4月から2019年3月まで2年間実施されました。国内全市町村数1,746のうち、9割以上の1,621自治体が参加、鳥取久松LCも鳥取市と連携して取り組みました。



回収量は全国参加自治体78,985トンNTTドコモによる携帯電話の回収約621万台。

最終的な確保金属量 金:約32kg 銀:約3,500kg
銅:約2,200kg

オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅のメダルに必要な金属量を100%を回収し、約5,000個のメダルが完成しました。

鳥取久松LCは、鳥取市・リファーレンいなばの協力をいただき、チラシ・ポスターで広告し、2018年6月3日・11月18日の2日間リファーレンいなばで開催されたイベントにリサイクル家電回収コーナーを設置し多くの市民の協力をいただき、1,270kgの回収ができました。

この取り組みの主管庁である環境省は、メダルプロジェクトの成果をレガシーとして活用し、自治体、認定事業者等と連携した「アフターメダルプロジェクト」を実施。スペシャルオリンピックスと連携した回収や、自治体等で開催されるスポーツ大会等のメダル作成の原材料に利用。ショッピングモール、小売店、交通機関、郵便局等での回収促進を図ることとしています。



2017年度・2018年度メインアクティビティ「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」は、その取り組みが評価され2018~2019年度「ガバナーズアワード環境保全部門・ガバナーズ大賞」を受賞しました。



千代

会長スローガン 「叡智を結集し コロナ禍でも豊かな心で We Serve」



会長挨拶

会長 尾崎 一芳

新年おめでとうございます。

今年度のスローガンは、「叡智を結集し コロナ禍でも豊かな心でWe Serve」です。

新型コロナと共存していくなか、今後も奉仕活動の中止や縮小を余儀なくされるでしょう。昨今、リモート（WEB）という手段が大きく周知され、セミナー、教育、医療、面接、マッチング、営業などあらゆる分野での活動手段が多様化されました。今この時が、今後のクラブ活動の取り組みを考える時間です。コロナの収束を待っていたらクラブ存在の意義などありません。

そこで、ライオンズクラブ本来の目的を達成できるよう諸先輩方から優れた知恵をお借りして、豊かな心での奉仕事業、楽しいクラブ活動が継続していけるよう取り組んでいきたいと考えます。これまで先輩ライオンの皆様が築いてこられた実績を基盤とし、継承すべきこと、変化しなければならないことを区別し、魅力ある・元気ある・個性あるクラブを目指してまいります。そして、ライオンズクラブが地域社会にますます良い印象をあたえられるよう取り組んでいきます。

後期も皆様のご期待に応えられるよう誠心誠意務めてまいりますので、より一層のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様にとってこの1年が素晴らしい年となりますよう心より祈念いたします。



幹事の挨拶

幹事 伊藤 裕恵

新年あけましておめでとうございます。鳥取千代ライオンズクラブ、幹事の伊藤裕恵でございます。

まずは、このように6LCの活動が一堂にして見られる会報誌を作成することを提案、実行された広岩ゾーンチェアパーソンに感謝申し上げます。

さて、現在、鳥取千代LCには急速にデジタルの波が押し寄せてきております。溺れまいと必死にもがいておりますが、これが又、使えるようになると便利で面白い。今は未だほんの序の口ですが、情報は共有できるし、作業効率もアップするし、ペーパーレスで環境にも優しい。色々と応用もできるし、どんどん進化してまいりたいと思っております。

アクティビティの記憶で新しい事としては、国際作文コンテストで336-B地区の最優秀賞の受賞があります。2019年の地区年次大会で表彰された太田君の姿は、とても誇らしいものでした。そして、千代LCの活動の一つにYE生の受入れがありますが、この事業は私が英会話教室に通い続けるモチベーションにもなっております。このようにライオンズ活動が私自身の学びを深くしてくれています。

この学びを生かし、これからも仲間と共に社会の為に貢献していきたいと思います。



2021.12 夜間例会



YCE生受入

会長 尾崎 一芳

私が最初にYCE生を受け入れたのは、2016年12月に3週間、イタリア人のMara Guainiさんでした。

受け入れ期間中、神楽などの民族芸能、スキー合宿、和太鼓演奏、茶道などの文化体験、名所・史跡巡り、教育機関の視察、同年代や外国語ボランティア団体との交流など、地域に密着した時間も過ごしました。

彼女は、自国と異なる習慣、慣習、文化、伝統などを重んじながら、堂々とした振る舞い、相手の立場を尊重する言動、TPOをわきまえた服装をするなど、素直で明るいマルチリンガルMaraの人間力に感心することしきりでした。

心配であった日本食も難なく食し、食欲も旺盛でした。体調を崩すことなく、無事に見送ることが出来た時は、安堵の胸を撫でおろしました。素晴らしい時間を与えてくれた妖精のようだったMaraさん、将来、宇宙事業に携わるという夢に近づく、記憶に残る素敵な経験になったと確信しています。

今回の活動では、会員皆がおもてなし精神を大切に、この経験を楽しもうとする言動がとても嬉しく感じられました。

終わりとなりますが、このような素晴らしい機会をいただきましたクラブ会員の皆様、関係各所の力強いご支援に、感謝の気持ちでいっぱいです。当クラブのアクティビティの重要な柱とすべく次回の受け入れも盛り上げていきましょう。引き続きよろしくお願い申し上げます。

【YCE受入に関する事業】

1987～1988	冬	受入	Nicki Symes's	NZL
1993～1994	夏	派遣	諸寄 雅子	台湾
1993～1994	夏	受入	Liv Larsson	SWE
1995～1996	冬	受入	Wang Yi Ting	台湾
1998～1999	夏	受入	Bertrand Doron	FRA
2006～2007	冬	派遣	吉川 紘平	AUS
2013～2014	夏	受入(後半受入)	Anni Kallonen	FIN
2016～2017	夏	受入	Mara Guaini	ITA
2017～2018	夏	受入(前半受入)	Pinja Kaunonen	FIN
2019～2020	夏	受入	Heidi Hytti	FIN



2016-2017 マラ



2017-2018 ピンヤ



2019-2020 ヘイディ



国際平和ポスター・作文コンテスト

市民奉仕委員長 笹田 博

今年度も「私たちはみんなつながっている」をテーマに、ライオンズ国際平和ポスターコンテストに応募しました。

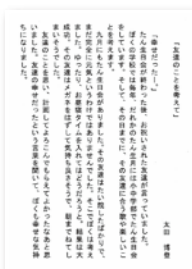
昨今コロナ禍により、当クラブにおいても様々な事業が中止又は縮小されています。そんな折ですが、みんなで少しでも明るい未来を思い描きたいと考え、小学校の児童の皆さんに出展して頂きました。

今年度で8回目となるアクティビティです。EM活性液投入事業を通じてお世話になった縁で始まり、提出して頂いた作品は短期間ですが、とりぎん文化会館1Fフリースペースに展示してたくさんの方に見て頂いています。

昨年度(2020年)は、鳥取市立津ノ井小学校6年橋本美侑さんが「優秀賞」を受賞されました。また作文コンテストでは2018年度に、鳥取県立盲学校5年の太田博登さんが「最優秀賞」を受賞されました。



優秀賞を受賞された橋本美侑さん(2020年)



最優秀賞を受賞された太田博登さん(2018年)





鳥大留学生と餅つきの会

国際協調委員長 片山 武夫

1997年(平成9年)に事業を開始して以来、25年にわたり国際協調委員会のアクティビティとして、鳥大留学生と餅つきの会の交流イベントを行っています。

留学生の出身国は中国・韓国・インドネシア・ベトナム・モンゴル等と様々。参加留学生20名と鳥大の先生・地域住民・ライオンズメンバーの総勢50名ほどで行っています。

事業当初から4年間は留学生とクラブメンバーで、田植え・稲刈り・餅つきの体験を行っていましたが、2004年から地域住民を交えての交流会に発展し、餅つき・ジビエ料理・キノコ鍋などを作り交流会の内容も変わりました。餅つき体験は薪を焚いてもち米を蒸し、杵と臼を使い、とち餅・よもぎ餅・白餅を作ります。ジビエ料理は、地域住民が捕獲した猪を使い猪鍋と焼肉にして食しています。留学生には自国の料理、餃子・トムヤムクン・トッポギ・韓国チジミなどを作ってもらっています。食事会では、留学生の出身国の話や、自身の話をしてもらいながら交流を深めて来ました。交流会を通じてお互いの人柄や国を知る良い機会だと思っています。昨年度はコロナ禍の中なので開催中止になりましたが早く開催出来る様になって欲しいです。



もちつき



料理作り



発表会



懇親会



全員集合



鳥取藩主池田家墓所 清掃奉仕

社会福祉委員長 林 正人

鳥取千代ライオンズクラブでは、1983年5月15日認証記念日の事業として本市に礎を築いた、池田光仲を初代とする鳥取城主代々の国の指定史跡池田墓所の清掃奉仕活動を本年で38年連続で実施しています。

池田墓所は、鳥取城39年間の藩制の中で池田城主他代々の墓碑が75基並び、墓制を伝える極めて貴重な遺跡であります。昭和56年に国の史跡指定され、公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が管理しております。県内外から参拝者が多く、写真コンクール、燈籠会等を行っており、同保存会から本クラブの清掃奉仕活動を例年待たれています。

近年では、山門幕、提灯を寄贈してより一層絆を深めています。

- | | | |
|----------|------------|--------------------------------------|
| 1983. 5 | 認証式記念事業 | 標柱(奉仕塔)1基 |
| 2007. 10 | 結成25周年記念事業 | 標柱(奉仕塔)架け替え |
| 2010. 5 | CN27周年事業 | 山門用家紋入り幔幕 |
| 2013. 5 | CN30周年事業 | のぼり旗37本 |
| 2015. 5 | CN32周年事業 | 山門用家紋入り幔幕架け替え(新調) |
| 2017. 11 | 結成35周年記念事業 | 家紋入り大提灯2張・提灯台2台寄贈
(鳥取藩主池田家墓所保存会へ) |



2017 標柱



2010 幔幕



2018 掃除



2020 掃除



2017 灯籠贈呈



表彰状

過去の周年事業一覧

◆認証式記念事業(1983)S58.5

- *鳥取市スポーツ振興基金
- *国府町青少年育成資金
- *千代川スポーツ広場にスローガン宣伝塔 1基
- *国府町池田墓地に奉仕塔 1基

◆5周年(1987)S62.10

- *記念講演「姫路・鳥取横断道と鳥取県経済」
神戸大学学長 新野幸次郎氏
- *鳥取市少年スポーツ振興基金
- *鳥取市行徳緑地公園へ給水施設
(姫路と合同)
- *国府町へキャンプ用品一式
- *鳥取市若草学園へ運動遊具一式
- *鳥取市少年サッカー育成資金
- *鳥取市少年少女合唱団育成資金
- *LCIF基金 1,000\$拠出
- *姫路・鳥取少年サッカー

◆10周年(1992)H4.10

- *国府町因幡歴史館へ文庫資金
- *瓦町「行き先道しるべ」設置

- *鳥取市老人保健施設「やすらぎ」へ植栽
(姫路と合同)
- *鳥取県腎バンク設立協力金
- *優良ナース表彰(地域医療に貢献)
- *鳥取市少年少女合唱団育成資金
- *LCIF基金拠出
- *鳥取市少年サッカー育成資金
- *姫路・鳥取少年サッカー

◆15周年(1997)H9.11(5LC合同)

- *青い地球を守ろう運動費
- *青い地球を守ろうCD作成・寄贈
- *鳥取市少年少女合唱団育成資金
- *LCIF基金 1,000\$拠出
- *姫路・鳥取少年サッカー

◆20周年(2002)H14.10

- *樗谷公園入口に観光案内板設置
- *因幡万葉歴史館見学者のためのベンチ 6基
- *チョコラ団体へのサポート基金創設
- *LCIF基金 1,000\$拠出
- *姫路・鳥取少年サッカー交流試合開

◆25周年(2007)H19.10

- *鳥取いのちの電話
- *LCIF基金拠出
- *行徳緑地プレート修理
- *池田家墓所標柱架け替
- *姫路・鳥取少年サッカー

◆27周年(2010)H22.5

- *池田家墓所山門に幔幕

◆30周年(2012)H24.10

- *山陰ジオパークPR用看板設置
- *史跡鳥取藩主池田家墓所保存会へ
のぼり旗 37竿

◆32周年(2015)H27.5

- *池田家墓所山門幔幕掛け替え

◆35周年(2017)H29.10

- *史跡鳥取藩主池田家墓所保存会へ
家紋入り大提灯 2帳・提灯台 2台

◆37周年(2019)R1.7

- *瓦町ロータリー「行き先道しるべ」看板
架け替え



スローガン塔
1982(S57)



行徳緑地
1987(S62)



少年サッカー
1987(S62)



やすらぎ植栽
1992(H4)



ナース表彰
1992(H4)



鳥取市少年少女合唱団
1997(H9)



樗谷看板
2002(H14)



万葉ベンチ
2002(H14)



ジオパーク看板
2012(H24)



ロータリー看板
2018(H30)

6LC親善チャリティボウリング

＼ 2021年度 団体第3位 /



＼ 2015年度 団体優勝 /



砂丘

TOTTORI SAKYU LIONS CLUB

LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 336-B 7R-1Z



「モットー」。

We Serve「われわれは奉仕する」

会長スローガン

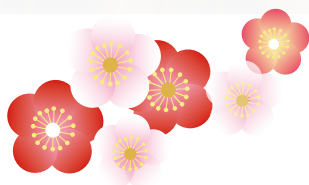
「明るく楽しい例会通し、思いを一つに“We Serve”」

INFORMATION ●会長 挨拶

●幹事 挨拶

●新会員紹介

●アクティビティ



新年を迎えて



鳥取砂丘ライオンズクラブ 会長 蓮佛 進

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることが出来ました。

新型コロナウイルスの感染拡大からほぼ2年。出口の見えない閉鎖感を抱えていた日本にようやく光が見え始めた中で、我々鳥取砂丘ライオンズクラブは、感染対策を徹底しながら通常例会を行い、アクティビティも例年通りではなく、今出来ることを考え実行し活動して参りました。

鳥取砂丘の清掃活動、EM活性液の散布、チャリティーグランドゴルフの開催、奉仕活動が出来る喜びを改めて感じました。また、新会員4名の加入はとても大きく、ライオンズ活動の幅が更に広がる嬉しいことでした。

来期は35周年を迎えます。

私の掲げたスローガン、「明るく楽しい例会通し、思いを一つに”We Serve”」

明るく、楽しく、出席したくなる例会を行えるよう努力してまいりますので、会員皆様が出席して、同じ時間を共有し、友情・親善・相互理解のきづなを深め、アクティビティへの全員参加や会員増強にも積極的に取り組み、仲間を増やし、35期にバトンを渡して行きたいと思います。

どうか皆さん、今年もよろしくお願いいたします。

新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます



鳥取砂丘ライオンズクラブ 幹事 野藤 晃寿

2021年～2022年幹事を仰せつかり、早いもので半年がたちました。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大のため、オリンピック・パラリンピックが一年延期になった、世界でも稀にみる年ではありました。そして、計画していた例会やアクティビティ、エクスカーショ等が開催されず、大変、残念な期間が多かったと思います。また、不慣れなりリモート会議等活動しにくい期間が長

く続き、困惑した方も多かったのではないのでしょうか。

完全収束を待っていてもまだまだ予断を許さない状況が続くと思いますが、ライオンズクラブとして、できる限りの活動を通し社会貢献をしていきたいものです。

さあ春がやってきます。

会員の皆様の英知と勇気と情熱をお借りし屋外で市民が楽しめるような取り組みが出来たらと思います。宜しくお願いいたします。

新 会 員 紹 介



垣田祐一郎

十月に入会いたしました垣田と言います。

三月末に、鳥取県商工会連合会を退職して、フラフラしている処、ライオン會持よりお誘いを頂戴し、また、入会時の例会では、会員の皆様に温かく迎えて戴き、有難く思っております。

前職である商工会職員当時より、ミッションとして、地域貢献、企業支援を行ってきた身として、今後も鳥取砂丘ライオンズクラブを通じて、皆さまとの縁を大切に、クラブ活動を楽しみつつ、地域社会に奉仕することを使命と考え、積極的に例会に参加して行こうと思っております。

どうか今後とも、至らない点多々あるかと思いますが、暖かい目で、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



渡邊 正雄

11月に入会させていただきました株式会社doorpostの渡邊と言います。この度は鳥取砂丘ライオンズクラブへ入会させていただき誠にありがとうございます。

入会后、まだ活動を何一つやっていないので、どういうことをやっていくのかわかりませんが、諸先輩方の指導を仰ぎながらボランティア活動・チャリティー活動など積極的に参加し、自己啓発に努めてまいりたいと考えております。

今まで「奉仕する」ことをやってこなかったもので、これからはライオンズクラブの「We serve」をモットーとして様々な奉仕活動に取り組んで社会貢献していきたいと考えております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



福井 悦生

福井印刷の福井悦生と申します。岡本緑化の岡本善一様のお誘いをいただき鳥取砂丘ライオンズクラブに入会しました。社会貢献を含め、あらたな決意を固める思いです。何卒よろしくお願い致します。

当方の仕事は印刷の外交が主で、東部エリアを中心に、毎日、営業で走り回っています。会社は昭和四四年に初代(父親)私で二代目となります。二代目でライオンズデビューを果たすことができました。

初参加の例会で、強く印象に残った言葉があります。

「自信と誇り、そして前へ」

あせらず、おごらず、いからず、地道に、プロ意識をもって、未来に明るい展望を持てるよう努力していきたいと思います。

なにぶん、未熟な若輩で至らぬ点多々あると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



武井 大浩

世界三大荒行 100日修行中



鳥取砂丘ライオンズクラブ チャリティーグラウンドゴルフ大会 2021.11.20

実行委員長 今田 慶太

鳥取砂丘ライオンズクラブは、例年、鳥取駅前風紋広場においてチャリティーバザーを開催していますが、コロナ禍のため、昨年と今年の開催を断念せざるを得ませんでした。

チャリティーバザーは、遊休品の販売やカラオケ大会等、人気の催しが多々あり、毎年好評を得ていますが、会員による特製焼きそばの販売や飲食店の出店もあり、飲食を伴うイベントとなることから、開催の可否について慎重な判断が求められ、苦渋の決断でしたが2年連続の開催見合わせとなりました。チャリティーバザーの開催が難しいとしても、他のアクティビティが出来ないか。

例会の中止から食事を伴わない例会の開催、そして黙食後の例会実施と、新型コロナウイルスの感染状況を見極め、段階を踏みながら例会を再開させてきましたが、取り組めるアクティビティは限定され、会員同士の交



流も希薄になりつつある状況でした。そのような中でのチャリティーバザー中止でしたので、蓮佛会長による「代わりに何か出来ないか？」との思いから、チャリティーグラウンドゴルフが企画され、今回、無事実現することが出来ました。

令和3年11月20日(土)、はわい温泉羽衣にて、LL・LB含め25名の会員が、久しぶりに共に体を動かし、グラウンドゴルフを楽しみました。

当日は天候にも恵まれ、美味しい食事を皆で頂きました。食事後は、温泉で汗を流し、心身共にリフレッシュすることが出来ました。

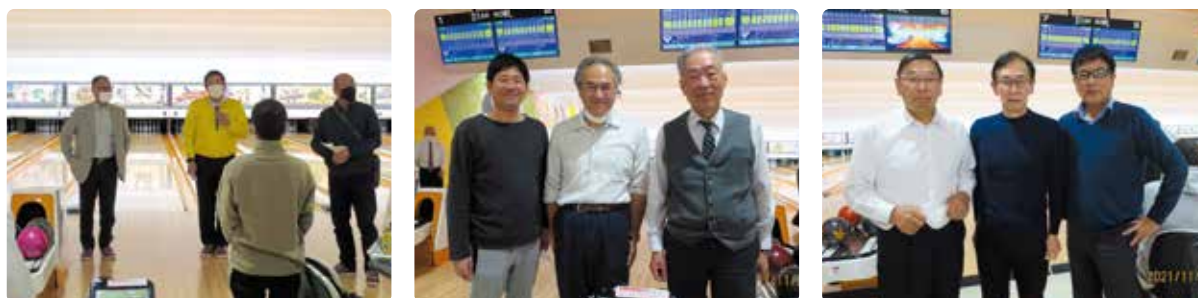
翌日ゴルフの会員は、さぞかし、パットの感覚が狂ったことでしょう。「何故だかパットの調子が良かった」という会員がいれば、是非ともドネーションをお願いします。



山陰海岸ジオパーク(鳥取砂丘)一斉清掃 2021.10.10



7R-1Z 6LC親善チャリティボウリング大会 2021.11.26



第32回 6LC親善チャリティーボウリング大会成績表

2021年11月26日(金)鳥取スターボウルにて

団体の部

〔優 勝〕	鳥取いなばライオンズクラブ	1,359点
〔準優勝〕	鳥取砂丘ライオンズクラブ	1,331点
〔第3位〕	鳥取千代ライオンズクラブ	1,328点
〔第4位〕	鳥取ライオンズクラブ	1,282点
〔第5位〕	鳥取久松ライオンズクラブ	1,196点
〔第6位〕	鳥取中央ライオンズクラブ	1,191点

個人の部

〔優 勝〕	吉野 恭介 (鳥取千代LC)
〔準優勝〕	川本 竜哉 (鳥取中央LC)
〔第3位〕	蓮佛 進 (鳥取砂丘LC)
〔第5位〕	西村 光司 (鳥取千代LC)
◇飛び賞	10位・20位・30位・40位・BB賞・11位(当月賞)・26位(当日賞)

◎チャリティー募金50,000円を鳥取市内10小学校で実施されたEM液活用のプール清掃事業にてEM原液と糖蜜購入に充当しました。皆様のご協力有難うございました。

あ と が き



新年おめでとうございます。また、広岩ZCのご尽力により6LC合同の会報誌が発刊されます事になり、これを機会に地区の結束が強くなる事を期待します。

この2年間は、コロナウイルス感染症の拡大によりクラブの事業も思うに任せず、自クラブ会報のネタ集めに苦労しました。いうなれば今回の合同会報で1回分案が出来たのかなと思います。いずれにせよ、感染症の早期終息により、一日も早い日常が復活することを願うばかりです。

鳥取LC MC委員長 松本匡司郎



新年あけましておめでとうございます。旧年は皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

この度6LC合同の会報誌発行ということになり、さて何を書けば良いものかと思いましたが思いのままに・・何もわからない私が会報委員会を担当して2年目になりますが、その間コロナ禍で活動もままならない状況下で、各委員会の活動の様子などをご寄稿下さった皆様のおかげで、滞りなく毎回無事発行することが出来ています。残された任期も皆様に支えられながら全うして行きたいと思ひます。

最後になりましたが新しく迎えた2022年こそコロナが収束して皆様に幸せ多き年であります様にお祈りすると共に今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

鳥取中央LC PR・会報委員長 小山由美子



初めての指導力・会報委員会で委員長を楽しく務めております、木下修司です。この度、第一回6LC合同会報誌も素晴らしい会員の皆様と楽しく意見を出し合い完成近くにございけホッとしております。合同会報誌が2回、3回とグッドチェンジしながら続く事を願っております。それから合同会報誌を提案されたZC廣岩勝彦様ありがとうございました。

鳥取いなばLC 指導力・会報委員長 木下 修司



2021年度のMC委員長を拝命、3回のクラブ広報誌の発行と聞いていたので安気に構えていたら、新会長より、クラブホームページの作成を命じられ、知り合いの業者をお願いしてゼロからのスタート。ようやくめどがつき始めた矢先、今度は6LC合同の会報発行、それも年内に原稿提出とのこと。やっとのことで発行までございけました。事務局の橋本さんには本当にお世話になりました。宮部会長、会長のポケットマネーで橋本事務員の臨時ボーナスをお願いします。

鳥取久松LC MC委員長 上杉 榮一



昨年末の雪には少し驚かされましたが、皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染予防で、ほとんどのアクティビティも中止、あるいは縮小となり大変な一年となりました。今年こそはと期待するばかりです。

こうして、廣岩ゾーンチェアパーソンの発案で6LCの合同会報誌を発行できました。なかなか他クラブの細かい情報は入って来ないので、大変意義のある会報だと思います。またの機会を楽しみに、皆さん熟読をお願いします。

鳥取千代LC PR委員長 丸山 直正



皆様健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス発生により、全世界に猛威をふるい私達、ライオンズクラブ会員の例会・アクティビティ等いろいろな活動が制約されました。コロナウイルス感染者数も減少し、何とか僅かでも活動の声が聞こえたこの頃、7R-1ZのZCにより6LC合同PR会報誌の発行が初めて立案され実行の運びとなりました。この事は7R-1Zの更なる活動価値感を高める要因の一つになろうかと思っています。これから先、新型のオミクロン株が全世界に拡散する気配があり、又、ライオンズクラブの活動の制約が懸念されますが、新型コロナウイルスに負けない心で会員皆様ご知恵を出し合い社会への奉仕活動に寄与しましょう。

この度の、6LC合同会報誌の発行に際し皆様のご協力を賜り委員会の一員として厚く御礼申し上げます。

鳥取砂丘LC 会報委員長 廣岩 安治